

洛西地域における“交通のバージョンアップ” ～まちづくりと連動した持続可能な公共交通の構築～

応募様式A

洛西地域における“交通のバージョンアップ”に向けたプラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	京都市、株式会社ヤサカバス
事業実施地域	京都市
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	観光・まちづくり
共創パートナー	京阪京都交通株式会社、阪急バス株式会社、京都市交通局
運行形態	路線バス
運行主体	株式会社ヤサカバス、京阪京都交通株式会社、阪急バス株式会社、京都市交通局

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

京都市西京区洛西地域では、4つのバス事業者が、住宅地から鉄道駅に接続する路線バスを高頻度で運行しているが、人口減少や高齢化の進行等によりバスの利用者は減少し、各事業者とも厳しい経営環境に置かれている。

こうした中、令和5年11月に、本市として「洛西“SAIKO”（さあ、いこう）プロジェクト」の具体的な実行策を取りまとめた。まちの中心エリアへの賑わい施設を併設した分譲マンションの立地促進や、遊具の充実による公園の魅力アップなど、地域の活性化に向けた取組を進めることとしている。併せて、交通のバージョンアップにも取り組み、持続可能な運行体制を構築していくことで、地域の魅力を高め、来訪者の増加や移住の促進につなげることで、まちの再生・活性化・賑わい創出を図る。

（事業の概要）

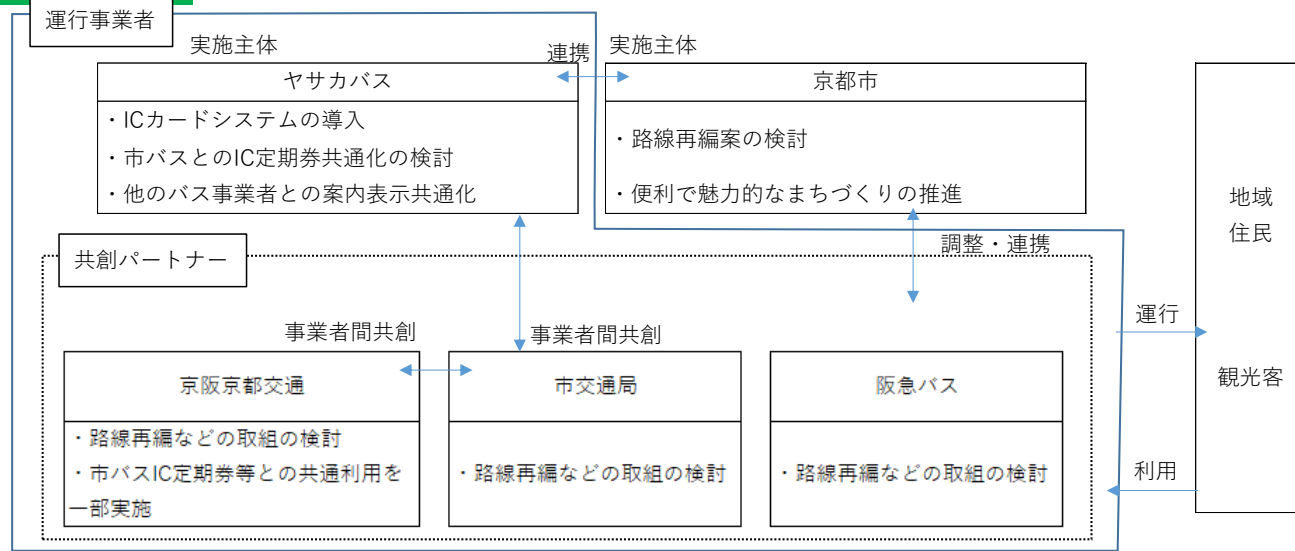
洛西“SAIKO”プロジェクトに掲げる「交通のバージョンアップ」として、運賃制度のシームレス化、さらには路線再編などに取り組むこととしている。路線再編については、令和6年6月に、地域の拠点（洛西バスターミナル）と鉄道駅とを最短ルートで結ぶバス路線の新設やニュータウン内の回遊性を向上させる路線編成を先行実施。また、運賃制度のシームレス化に向けては、ICカードシステム未導入事業者（ヤサカバス）に対して支援を行い、地域を運行する全てのバスでICカードが利用可能とし、利便性の向上を図る。各交通事業者においては、利用データも踏まえながら、路線再編に向けた更なる検討を京都市と共に進める。そのうえで、事業者間の共創により、IC定期券の共通利用化など、更なる運賃制度のシームレス化に取り組む。こうした取組と併せて、バス車内における案内表示の共通化・多言語化にも取り組み「分かりやすさ」の向上を図る。

洛西地域における“交通のバージョンアップ” ～まちづくりと連動した持続可能な公共交通の構築～

応募様式A

洛西地域における“交通のバージョンアップ”に向けたプラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

【ヤサカバス】 ICカードシステムの導入に向けた取組を進めるとともに、機器更新に合わせて案内表示の共通化、多言語化（シームレス化）を進める。市バスとのIC定期券共通化を検討。

【京都市】 運賃制度のシームレス化、まちづくりの状況も踏まえながら、洛西地域における効率的で持続可能な交通ネットワークの構築に向けて、路線再編案の検討、事業者間の調整を担う。

【交通事業者】 京都市と共に、運賃制度のシームレス化、洛西地域のバスネットワークの在り方について協議・検討を進める。

令和6年6月には路線再編を先行実施。また、京阪京都交通では、市バスIC定期券等との共通利用を一部実施。

(実証事業により見込まれる効果)

本実証事業により、洛西地域を運行する全てのバスにICカードシステムが導入されることで、バス事業者を気にせず利用できるようになり、利便性の向上が図られ、バス利用者が増加していくものと考え。その先には、運賃制度のシームレス化、まちづくりの動きと連動した路線再編にも取り組み、持続可能な交通ネットワークを構築することで、地域の魅力を高められるものと考え。併せて、バスの案内表示の共通化・多言語化にも取り組むことで「分かりやすさ」の向上を図り、地域住民や来訪者にとって、よりバスを利用しやすいと認識いただくことで、利用増が図られる。

洛西地域における“交通のバージョンアップ” ～まちづくりと連動した持続可能な公共交通の構築～

応募様式A

洛西地域における“交通のバージョンアップ”に向けたプラットフォーム

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

【令和6年度】

ヤサカバス	契約締結 ICカードシステムの導入に向けた協議・調整 ICカードシステムの運用開始(市バスとのIC定期券共通化の検討) 案内表示の共通化・多言語化
バス事業者	洛西地域における取組の検討【京都市と共に】 (例: 運賃制度、路線・ダイヤ、案内表示など) 路線再編の先行実施 (地域の拠点となる洛西バスターミナルと鉄道駅とを最短ルートで結ぶバス路線を新設、 洛西ニュータウン内の回遊性の向上) 市バスIC定期券等との共通利用を6月から一部実施(京阪京都交通)
京都市	路線再編の検討(利便性・効率性の両面から) 事業者間調整 地域住民・利用者への情報共有

(補助事業実施後の予定)

- まちの活性化・賑わいの創出に向けた取組と連動したバス路線・ダイヤの再編
- 地域住民等を対象としたバスの利用促進活動
- 市バスとのIC定期券共通利用化など、よりシームレスな運賃制度の構築
- バスの利用拡大の取組の継続(公共交通利便性のPR、地域で公共交通を支える機運の醸成)



- 効率的で持続可能な運行体制の構築
- 洛西地域のまちの活性化、賑わいに資するバスネットワークの実現
- 地域におけるバス利用者の増加